

社会福祉法人天竜厚生会 実践発表会

社会福祉法人 天竜厚生会

〒431-3492 静岡県浜松市天竜区渡ヶ島 217-3

助成事業の概要

【目的】

地域住民を対象に社会福祉法人が実践している事業の発表を行う事で、地域の福祉に対する理解を含め、高齢者・障がい児者・外国人等が住み慣れた地域で長く一緒に暮らせる地域づくりを推進する事を目的とする。

【時期】

令和8年2月7日、浜松アクトシティ中ホールにて実施。

【当日の入場者数】

約350名

【内容】

時代の変遷の中で、福祉制度の充実が図られてきた一方、人々の生活課題はより複合的かつ多様化している。さらに、昨今では地域力の希薄化や2040年問題、歯止めのかからない少子化等、福祉の枠にとどまらず、社会全体で取り組むべき課題が顕在化してきている。このような背景を踏まえ、今回の実践発表は「15年の歩みとともに」をテーマに掲げ、第1回開催当時の取り組みを振り返るとともに、変化し続ける社会情勢や制度の中で展開してきた当法人の実践の一端を報告した。また、これらを通じて、今後求められる福祉のあり方や地域社会との関わりについて、展望を交えながら発表した。

事業の成果

当日は下記プログラムの通り実施した。

テーマ：15年の歩みとともに

- (1) 基調講演：天竜厚生会の歩みとこれから
～昭和・平成・令和の変遷を経て～
- (2) 認知症ケアにおける施設と地域の実践
～15年の歩みとこれから～
- (3) I 子育て部門の歩みと継承への取り組み
II カンボジア王国幼児教育支援事業
- (4) 福祉教育の軌跡とこれから

今回は「15年の歩みとともに」をテーマに、第1回開催当時の取り組みが、時代の変遷とともに現在までどのように展開・発展してきたのかを振り返り、これからの福祉のあり方や展望について発表した。福祉分野の関係者に加え、「行政」「教育」等の専門機関からも参加をいただき、福祉分野が抱える課題を共有するとともに、助言をいただくことで、相互に見識を深める機会となった。

また、有識者を来賓として招くとともに、各分野から関心を持って一般聴講に訪れた多くの方々に対し、当法人の取り組みや福祉現場の現状、地域との連携の重要性について広く発信することができた。さらに、聴講者からの意見や率直な反応を得られたことは、地域の方々の福祉への関心を高める契機となったと考えている。

アンケートでは、「天竜厚生会が地域や福祉としてのニーズに早くから広く取り組んでいることに感銘を受けた」「福祉や保育がどのように変化してきたのかを知る良い機会となった」といった前向きな声が寄せられた。これらの結果から、当法人の役割や活動を幅広く周知することが信頼の向上につながり、地域における福祉啓発にも寄

与できたものと捉えている。

さらに内部からは、「発表全体を通じて、今一度自分たちの取り組みを振り返って、今後に向けてどのように取り組んでいくかを立ち止まって考える機会となった」との意見も聞かれた。今回の発表会は、当法人のこれまでの歩みを共有するとともに、今後の目指すべき方向性を再認識し、次世代へとつながる有意義な機会となった。

地域とのつながりをより一層強固なものにし、さらなる福祉の啓発、地域福祉の増進につなげていきたい。

成果の広報・公表

天竜厚生会ホームページ上で実施報告を掲載する。また、当法人の広報誌「機関誌あかまつ」上でも記事を掲載し、地域関係者をはじめ多くの方にお配りする事で、広く一般の方に成果を知っていただく広報の機会を整える。

今後の展開

当法人の実践発表会はこれまで、法人の特色や地域ニーズの事業化、制度改正等に即した先駆的な取り組みを報告する形で継続してきた。本年度は趣向を変え、「15 年の歩みとともに」をテーマに掲げ、当法人の歴史やあゆみの理解に焦点を当て、次世代につなげる意義を示すことを狙いとして開催した。あわせて、目指すべき方向性や社会福祉法人の役割を改めて認識することを目的とし、第1回開催当時の取り組みが時代の変遷とともに現在までどのように展開・発展してきたのかを整理・報告するとともに、これからの福祉の展望について発表した。

当日は、多くの方が聴講に訪れ、当法人の役割や活動を幅広く周知することで信頼を高めるとともに、地域住民に対する福祉の啓発にも寄与できたものと捉えている。

今後も実践発表会を通じて、当法人の取り組みを継続的に発信していくことで、社会福祉法人と